

## 中央銀行部会の部会運営

慶應義塾大学 白塚重典  
(代表幹事、2023年4月～)

(全国大会でのパネルセッション)

2014年春(慶應義塾大学):「量的・質的金融緩和の導入から1年ー中間評価」

モデレータ:池尾和人(慶應義塾大学)

パネリスト:内田和人(三菱東京UFJ銀行)、渡辺努(東京大学)、ロバート・フェルドマン氏(モルガン・スタンレーMUFJ証券)

2014年秋(山口大学):実施せず

2015年春(東京経済大):「量的質的緩和政策の評価」

モデレータ:高橋 亘(大阪経済大学)

パネリスト:飯田泰之(明治大学)、原田 泰(日本銀行)、河野龍太郎(BNPパリバ証券)、早川英男(富士通総研)

2015年秋(東北大学):「金融システムの安定に向けて:マクロプルーデンス政策を中心に」

モデレータ:春井久志(関西学院大学)

パネリスト:屋敷利紀(金融庁)、木村 武(日本銀行)、黒田 巖、井上哲也(野村総研)

2016年春(武蔵大学):「非伝統的金融政策における手段・枠組みの国際比較」

モデレータ:水野温氏(クレディ・スイス証券)

パネリスト:鈴木敏之(三菱東京UFJ銀行)、高屋定美(関西大学)、斉藤美彦(大阪経済大学)

2016年秋(関西大学):「マイナス金利政策の評価」

モデレータ:宮尾龍蔵氏(神戸大学)

パネリスト:本多佑三(関西大学)、櫻川昌哉(慶應義塾大学)、竹田陽介(上智大学)

2017年春(早稲田大学):「『ビジネスエコノミクス』から金融政策を評価する」

モデレータ:西村清彦(政策研究大学院大学)

パネリスト:安達誠司(丸三証券)、加藤 出(東短リサーチ)、藤木 裕(中央大学)

2017 年秋（鹿児島大学）：「マーケットから見たこれまでの金融緩和政策」

モデレーター：早川英男（富士通総研）

パネリスト：東 善明（日本銀行）、清水智也（ドイツ証券）、高島 修（シティグループ証券）

2018 年春（専修大学）：「新日銀法施行後 20 年」

モデレーター：山口廣秀氏（日興リサーチセンター）

パネリスト：神田秀樹（学習院大学）、高橋 亘（大阪経済大学）、軽部謙介（時事通信社）

2018 年秋（名古屋市立大学）：「金融政策研究の最先端」

モデレーター：塩路悦朗（一橋大学）

パネリスト：敦賀貴之（大阪大学）、柴本昌彦（神戸大学）、中山興氏（日本銀行）

2019 年春（学習院大学）：「日本銀行の 2%物価安定目標がなぜ達成できないか」

モデレーター：門間一夫（みずほ総研）

パネリスト：加藤出氏（東短リサーチ）、安達誠司（丸三証券）、渡辺 努（東京大学）、内田真人（成城大学）

2019 年秋（甲南大学）：「マネーの未来」

モデレーター：山岡浩巳氏（フューチャー）

パネリスト：柳川範之（東京大学）、向井英伸（みずほ FG）、瀧俊雄（マネーフォワード）

2020 年春（開催中止）→予定していたプログラムは 2021 年春に実施

2020 年秋（オンライン開催）：「どのように金融政策を教育すべきか、発信すべきか、理解すべきか」

モデレーター：宮尾龍蔵氏（神戸大学）

パネリスト：青木浩介（東京大学）、関根敏隆（一橋大学）、鈴木敏之（三菱 UFJ 銀行）

2021 年春（麗澤大学、オンライン開催）：「『新常態』、コロナ危機下の中央銀行——直面する課題と政策の国際比較」

モデレーター：中曾 宏（大和総研）

パネリスト：田中隆之（専修大学）、河村小百合（日本総研）、井上哲也（野村総研）、北坂真一（同志社大学）

2021 年秋（大阪経済大学、オンライン開催）：「金融政策の国債管理政策化：超低金利環境からの出口はあるのか」

モデレーター：白塚重典（慶應義塾大学）

パネリスト：齊藤 誠（名古屋大学）、鎮日雅人（早稲田大学）、河野龍太郎（BNP パリバ証券）

2022 年春（成城大学、パネルセッションはオンライン開催）：「金融政策は格差問題とどう向き合うべきか」

モデレーター：塩路悦朗（一橋大学）

パネリスト：池田大輔（日本銀行）、福田慎一（東京大学）、前田栄治（ちばぎん総合研究所）、武田洋子（三菱総合研究所）

2022 年秋（神戸大学、オンライン）：「長期停滞下での地域金融の機能と中央銀行の役割」

モデレーター：家森信善（神戸大学）

パネリスト：小倉義明（早稲田大学）、大槻奈那（名古屋商科大学）、正木博（日本銀行）

2023 年春（一橋大学）：「金融政策の課題と将来展望」

モデレーター：白塚重典（慶應義塾大学）

パネリスト：星 岳雄（東京大学）、加藤 出（東短リサーチ）、亀田制作（SOMPO インステイチュート・プラス）

2023 年秋（九州大学）：「AI、ビックデータと金融」

モデレーター：白塚重典（慶應義塾大学）

パネリスト：北村行伸（立正大学）、宮川大介（早稲田大学）、瀧俊雄（マネーフォワード）

（部会研究会）

2014 年 9 月（成城大学）

報告者：齊藤壽彦（千葉商科大学）「日本銀行券に対する信認問題——日本国債の無制限的発行との関係を中心として」、馬場直彦氏（ゴールドマンサックス）「異次元緩和は長期金利をどれだけ押し下げているのか？」

2015 年 3 月（専修大学）

報告者：深澤映司（国立国会図書館）「異次元金融緩和の出口戦略」、島村高嘉（元中央大学）「戦後歴代日銀総裁とその時代」

2015 年 4 月（神戸大学）

報告者：白川方明（青山学院大学）「中央銀行論の役割」

2015年9月（成城大学）

報告者：加藤 出（東短リサーチ）「金融規制と政府債務が日銀 QQE に与える影響」、須田美矢子（キャノングローバル戦略研究所）「政策担当者と学者の違いについてー金融政策運営に携わってー」

2016年3月（専修大学）

報告者：鎌田康一郎（日本銀行）「中央銀行の情報発信と市場心理」、清水 誠（東京国際大学）「負の利子率政策」

2016年9月（トムソン・ロイター・マーケッツ株式会社）

報告者：中空麻奈（BNP パリバ証券）「マイナス金利が金融市場に与えた影響～欧州との比較を踏まえて」、白塚重典（日本銀行）「消費者物価コア指標」

2017年3月（専修大学）

報告者：原田泰（日本銀行）「金融政策：マネー、物価、金利」

2017年9月（杏林大学）

報告者：岩下直行（京都大学）「FinTech による金融 IT の改革を目指して」、岩村 充（早稲田大学）「ビットコインはどこまで通貨になれるか～仮想通貨 vs 中央銀行通貨」

2018年3月（成城大学）

報告者：上川龍之進（大阪大学）「『安倍一強』と揺らぐ日本銀行の独立性」、左三川郁子（日本経済研究センター）「異次元緩和からの出口」

2018年9月（同志社大学）

報告者：宮尾龍蔵（東京大学）「日本経済と金融政策」

2019年3月（成城大学）

報告者：風戸正行（日本銀行）「金融政策のトーン分析：日本銀行の政策説明とメディア報道」、木内登英（野村総研）「実務面から見た日本銀行の金融政策正常化とコミュニケーション戦略」

2019年9月（専修大学）

報告者：北坂真一（同志社大学）「日銀の金融緩和と新しい論点」、大野英昭（アクセンチュ

ア)「金融規制緩和と金融フレームワークの将来」

2021年4月(オンライン)

報告者:政井貴子(日本銀行)「量的・質的金融緩和の歴史と変遷」

2021年7月(オンライン、歴史部会との共催)

報告者:白川方明氏(青山学院大学)「中央銀行論に私が感じている『もどかしさ』:歴史、社会、バンキング、組織の視点の重要性」

2021年9月(オンライン)

報告者:森田長太郎(SMBC日興証券)「経済学はどのように世界を歪めたのか」、正木一博(日本銀行)「わが国金融システムの動向と今後の課題」

2022年3月(オンライン)

報告者:井上哲也(野村総研)「中央銀行デジタル通貨の設計:『通貨と銀行の将来を考える研究会』の議論から」、櫻川昌哉(慶應義塾大学)「バブルの経済理論:低金利、長期停滞、金融劣化」

2022年9月(オンライン)

報告者:水口 毅(アクセント)「金融当局による民間金融機関からのデータ収集・分析について——海外の動きを中心に」、渡辺 努(東京大学)「物価とは何か:『急性インフレ』と『慢性デフレ』の行方」

2023年3月(オンライン)

報告者:植杉威一郎(一橋大学)「ポストコロナの中小企業金融」、高橋 亘(大阪経済大学)「インフレ政策への疑問」

2023年12月(慶應義塾大学)

報告者:小林慶一郎「財政の持続性とフューチャー・デザイン」、仲田泰輔「パンデミック政策のEBPM」

2023年3月(神戸大学<予定>)

報告者:地主敏樹(関西大学)「日本銀行の金融政策の正常化について」

パネルディスカッション:地主敏樹(関西大学)、宮尾龍蔵(神戸大学)、家森信善(神戸大学)